

11・4日比谷野音へ!

2012年9月30日
No.57

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

9・28首相官邸前行動打ち抜く

9月28日、首相官邸前を中心とした霞ヶ関一帯の反原発行動が闘い抜かれました!

処分策動に対して怒りの決起を開始している武田君を先頭に、首都圏の学生も結集して再稼働や大間原発などの新規建設、核燃サイクル維持とオスプレイ配備に突き進む野田に対して怒りの声をあげました!

官邸前100万人の怒りで野田打倒・原発廃炉へ!

10・19法大包围デモ

10月19日(金) 12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合



↑大学キャンパスと共に霞ヶ関でも最先頭で闘う武田君(法大・国文3)

全学連副委員長・大森靖之君(京都大・薬)の10・19結集アピール!

現在資本主義は急速に破綻してきています。アメリカではQE3が発動され中央銀行が毎月3兆円を市場に投下することで、経済を持たせています。中国ではバブル経済が崩壊し、賃上げを求めるストライキの嵐に政府は全く対応できていません。ヨーロッパではドイツが財政援助をしても行き詰まっています。日本では原発やオスプレイという社会を壊す方向の提案をすることで体制を支えようとしています。法政大学の闘いは常にこの社会そのものを批判し、変えていく主体を生み出すものでした。あらゆる処分に対して絶対反対の意思を貫き、その処分を起こす側の社会を変えるために全世界の労働者・学生の闘いに連帯してきました。

法政大学には「規制も処分もしょうがないんじゃないのか」の声を全国の学生、何より闘う法大生全員の力で跳ね返してきた歴史があります。

そして現在、「声を上げてもいいんだ!」の思いは若い世代に受け継がれ、武田君のような闘う主体が新たに生まれています。「規制を元通りなくそう」ではなく、「規制する大学そのものを法大生全員で批判し変えていこう」と呼びかけられています。



昨年の3・11原発事故以降、全国各地で原発絶対反対の闘いが爆発し、とりわけ首相官邸前には今年6月からの抗議行動にのべ人数で100万人が集まっています。9月9日にはオスプレイ配備反対で10万人の沖縄県民大会が開かれています。あきらめを乗り越えて社会を根底から変えようという意識がかつてないほどに強まっています。沖縄では全駐労という基地労働者の労働組合がその先頭に立っています。基地労働者が自らの経済的しぼりと向き合いながら、オスプレイ導入の根底にある日米安保を批判し、集会に結集しています。

今あらためて法大生が自分のキャンパスのしぼりを乗り越えて声を上げてほしい!武田君とつながってこの大学・社会を変える人になってほしい!

10・19はそういう人の結集軸にしたいと思っています。京大でも法政大学のような破綻した現状に向かっています。国からの運営交付金の減額(80億円)を当局がのむことで、来年度の人件費が28億円カットされる事が決定しています。解雇撤回!処分阻止!監獄大学を打ち破れ!法大生と共に闘う決意です。

現地行動隊からの10・7結集アピール!

全学連三里塚現地行動隊から目前に迫った10・7三里塚全国集会への大結集を訴えたい。私たちは全学連大会で、「アジサイ革命」を100万人の規模で爆発させようとの方針を決定し、自らのキャンパスで御用学者・原発賛成大学と徹底的に闘うことを通して新自由主義大学を粉砕し教育の民営化と対決する学生自治会を建設する闘いに突入した。すでに開講をした法政大学をはじめキャンパスからの決起が始まっている。国鉄を先頭に外注化阻止・非正規職撤廃の闘いは青年労働者を獲得し前進している。官邸前には、火曜日は反TPP、水曜日は社会保障改善・消費税反対、木曜日はオスプレイ配備反対、金曜日は反原発、と霞ヶ関一帯が連日占拠されている。

こうした中であって、市東さんの農地を守る闘いに学生が立ちあがることが決定的に求められている。市東さんの農地を守る闘いこそ〈国鉄・沖縄・福島〉とつながる最先端の闘いだ。10・7全国集会は何よりも、第3誘導路建設粉砕・市東さんの農地強奪を許さない闘いだ。現地の情勢は緊迫している。

200億円もの金をかけ、「へ」の字誘導路の欠陥も解決されない第3誘導路工事。家と畑をすっぽりと空港の中に囲い込み、排気ガス・騒音・振動で市東さんの生活・営農を破壊することを目的とした工事を絶対に許すことは出来ない。来年3月供用開始に向け、既にアスファルトの敷設工事が進められている。実力で粉砕する決意を固めよう。

さらに農地強奪攻撃の激化だ。おじいさんの代から3代にわたり、100年近くにわたって耕作してきた農地を奪う攻撃だ。誘導路を「へ」の字に曲げている南台の畑だけでなく、市東さんの家の前の畑、作業場、離れを奪い去ろうとしている。市東さんが裁判のなかで「命を奪うに等しいものだ」と弾劾しているように、生活・営農手段の一切を奪う攻撃であり断じて認めることはできない。早期結審にむけた裁判長の策動を阻止しよう。

しかし、追いつめられているのは空港会社であり、国家権力だ。三里塚闘争は、日帝の航空政策・農業政策・戦争政策を破綻に追い込んでいるからだ。

闘いによって、ハブ空港からの陥落を強制し、羽田国際化

による航空需要は低下している。LCC誘致と24時間化にむけて突き進もうとしているが、周辺住民もふくめた決起は不可避だ。TPPによって農業壊滅をねらっているが、三里塚を軸とする全国農民会議を先頭に、全国の農民の大反乱が始まっている。さらに、三里塚闘争は、沖縄と共に安保を粉砕する闘いとして軍事空港建設を阻止し続けている戦争・改憲阻止の最前線だ。領土を口実に戦争へと駆り立てようという攻撃の中で、三里塚の闘いはその輝きを増している。

◎三里塚闘争の決定的位置—労農同盟・国際連帯の砦

このような「国策」を阻止し続けてきた最深の力が動労千葉・反対同盟を先頭とした労農同盟・国際連帯の地平だ。現代における労農同盟の最高の発展形態・砦が三里塚闘争だ。社会の2大生産を担う労働者と農民が団結したときに「命よりも金儲け」の社会を変え、未来を切り開くことができる。三里塚闘争に対する攻撃の激化は、福島・被災地をはじめとする全国の農民・労働者が三里塚闘争のように労農同盟で資本・国家と非和解で闘うことに対する恐怖であり、外注化阻止・非正規職撤廃を闘う青年労働者と三里塚闘争が結びつくことへの恐怖に他ならない。歴史上、支配者の恐怖から生まれたあらゆる政策が暴力的抑圧のみに頼ったように、三里塚においても「力対力」の勝負となっている。労働者階級の根底からの怒りの力、数の力を思い知らせてやろう。大挙して現地に駆けつけよう! 学生こそがその最先頭に立とう!

最後に、本当に闘えるのだろうか? 勝利できるのだろうか? と日々、キャンパスで悩み格闘しているみなさんに訴えたい。是非、三里塚現地へ一度来て下さい。そして、闘って勝利している解放感、闘えば勝てるという実感を三里塚闘争で味わって欲しい。援農・現調、現地での行動に学生が立ちあがろう。全学連現地行動隊はみなさんの決起を心よりお待ちしております。

10・7全国総決起集会

【日時】10月7日(日) 正午

【場所】成田市東峰 反対同盟員所有畑

【主催】三里塚芝山連合空港反対同盟

11・4全国労働者総決起集会

新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを! JR外注化阻止! 反原発・反失業、野田倒せ!

◆11月4日(日) 正午～

◆東京・日比谷野外音楽堂にて

【主催】全日本建設運輸連帯労働組合・関西地区生コン支部、全国金属機械労働組合・港合同、国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

http://www.geocities.jp/nov_rally/

※右写真は、5950人が結集した昨年11月6日の全国労働者総決起集会

